

# 中村かずひこ通信

vol.6

【発行元】中村かずひこ未来をつくる会 〒321-4362 真岡市熊倉町3423-4 Tel. 0285-82-6285

今回は、アンケート用はがきを掲載しました。(詳しくは裏面に)



## 9月定例議会報告 期間 9/1 ▶ 9/28

### 中村、6回目の登壇! 9月議会一般質問

9月定例議会の質疑・一般質問が9日(木)、10日(金)の2日間にわたって行われました。



中村は今回、10日の2人目として登壇し、

1. 子育て環境の整備について
2. 職員における意識・制度の改革について
3. 教育関係の諸問題について

の計3件について一般質問を行い、論戦を展開しました。  
(中面に関連記事)

中村が行った  
質疑の内容

### 平成15年度 決算特別委員会

また中村は、9月22日(水)に開催された「平成15年度決算特別委員会」でも質疑を行い、執行部の考えを質しました。

1. 「職員互助会運営補助金」について
2. 「真岡鐵道鉄道軌道近代化設備整備費補助金」について
3. 「防犯活動費(防犯灯の設置)」について
4. 「保育所費」について
5. 「資源ごみ回収事業報奨金」について
6. 「海の家利用助成費」について

夢をカタチにするために…

## 建議要望を市長に提出



9月22日(水)、中村が所属する会派『新世紀・公明クラブ』では、平成16年度の市政に対する建議要望を、福田市長に提出しました。

なお今回、中村が出した要望では以下の5件が新たに盛り込まれました。

- 【総務関係】・青年層の定着率、Uターン率等の調査実施
- 【文教関係】・小・中学生の登下校時の安全対策強化と警察との連携強化
- ・自然教育センター多目的広場の条件付利用
- ・複数担任制の非常勤講師の拡充
- 【福祉関係】・病児保育、病後児保育の早期実現

## 若い力で政治を変えよう! ～『未来をつくる会』月例会より～

私たち『未来をつくる会』では、中村の当選以後、月1回のペースで意見交換会を開いています。



10月月例会の様子

これまで、政治やまちづくりにあまり関心のなかった若い世代が今、真岡市の様々な問題について語り合っています。

ぜひ、皆さんも一度お気軽にご参加下さい。

【お問い合わせ】  
TEL.82-6285 (中村宅まで)

## 市民と市政のかけ橋になりたい!

☆お気軽にお声をかけて下さい。  
お友達との井戸端会議、勉強会等。2~3人でも結構です。どこへでもお伺いいたします。

☆あなたのアイデアを市政にいかしたい!  
お気づきの点がございましたら、どんなささいなことでも結構です。ぜひご意見を!

(中村宅) TEL.82-6285 e-mail tonpei@i-berry.ne.jp

## 「見逃した!」という方に バックナンバーをお送りします

これまで『未来をつくる会』では、毎回定例議会終了時に、「中村かずひこ通信」を発行して来ましたが、1~5号までを見逃された方は、お気軽にご連絡下さい。こちらからお送りさせていただきます。



(連絡先) TEL.82-6285



質問:中村かずひこ

# 中村かずひこ議会レポート

## 9月定例議会

答弁: 福田 武隼 市長  
沼生 圭市 教育長  
井田 隆一 総務部長  
田宮與四郎 教育指導次長  
小松 廣志 秘書課長

### 子育て環境の整備 について



**質問** 真岡市では今、**子どもの医療費が6歳まで無料**となっている。しかし、**手続きが複雑**であるため、親たちから改善を求める声が多い。医療費の現物支給が困難であるというなら、せめて『**乳幼児医療費助成申請書**』のやりとりを、**病院と市役所の間だけで行うこと**によって、**手続きの簡略化を図ることはできない**のか。

**答弁** 本市では、乳幼児の9割が市内の医療機関を利用しており、申請件数もかなり多い。さらに、医療費助成の手続きを簡素化するためには、病院などにおいて膨大な事務的負担が、新たに生じると予想される。これらの課題を克服し実施するためには、**各医療機関の協力が必要であるため、まず医師会などとの話し合いを進めていきたい。**

**質問** 『**病児保育・病後児保育**』は、未就学児が病気療養中あるいは回復期にあるため、保育園や幼稚園に通えない場合に医療機関などが預かる制度である。**県内ですでに12市のうち7市で実施されているが、真岡市では現時点でどこまで検討が進んでいるのか。**

**答弁** 昨年度実施した調査により『このような施設があるとしたら利用したい』という希望が多くあり、必要なものであると認識している。**現在策定している『次世代育成支援対策行動計画』（平成17～21年度の5ヶ年計画）の中に『病後児保育』施設の設置を盛り込んでいきたい。**

**質問** 真岡市が昭和46年から実施している『**保育ママ制度**』は、待機児童の問題が叫ばれている今日にあって、子どもを家庭の温かい雰囲気の中に預けられるなどのメリットがあり、今後より一層重要度が増すものと思われる。しかし、**なり手が年々減少するなど、克服しなければならない課題も多い。**今後どのような対策を講じるつもりか。また、**親たちに対してのPRも充実させていく必要がある**と思うが。

**答弁** 保育ママ制度を含め、保育サービス全般の環境整備については、現在策定中の『次世代育成支援対策行動計画』の中で、検討しているところである。**また、なり手を募集するためのPR、さらに親を対象にした保育ママ制度のPRは、より一層いろいろな機会を捉え実施していく。**

### 職員における意識・制度の改革 について



**質問** 『**真岡市職員互助会**』は、市職員の福利厚生を増進を図ることを目的としている。しかし、厚生事業の内容を見ても、**ゴルフ大会（80万円）や日帰りバスツアー（60万円）**など、疑問に感じるものが少なくない。**事業費の半分は市民からの税金でまかなわれている。**厳しい財政状況で、あらゆる行政サービスを切りつめている今日、**事業内容の見直しを進めるのが道理**と考えるが。

**答弁** 職員互助会は、単にレクリエーションのような事業のみを行っているのではなく、**夏祭りの参加など、地域の活性化にも貢献している組織**である。事業と予算については、会員の意見をもとに毎年見直しているが、**今後も会員のニーズに応え、魅力あるものにしていきたい。**

**質問** 鹿沼市で起きた職員殺害事件を契機として、全国の自治体では職員の安全を確保しようと様々な取り組みを始めている。真岡市でも、**不当要求から職員を守るために、市役所に寄せられた要望、提言などは文書にするよう制度化できない**のか。

**答弁** 全ての要望などを文書化している訳ではないが、現在も不当要求などがあつた場合は、必要に応じ、相手、内容などを文書化するようにしている。今後も**文書化すべきものは文書化するよう対応していきたい。**

**質問** 市民が市役所に感じる不満として、職員の電話や窓口での対応の悪さを指摘する声が多に多い。**職員が電話に出る際、名前を名乗るよう徹底させるだけでも、マナーアップや意識改革に寄与するのではないかと、**昨年9月議会で提案したが改善されていない。今後どのようにする考えなのか。

**答弁** **名前を名乗ることよりも、電話対応の基本を徹底させることが重要**だと考える。現在、新規採用時、採用2年目、主事層及び主査層と、節目ごとに電話対応や接遇研修を行っている。

### 教育関係の諸問題 について



**質問** 自然教育センターでの宿泊学習など、市が独自に行っている教育事業は、1週間単位で事業時間が削られるような大型のカリキュラムが多い。**子ども達の授業時間を適切に確保するために、2学期制の導入を検討すべきではないか。**ちなみに、文教常任委員会で行政視察をした石川県金沢市では、2学期制の導入後、1020～1030時間の授業が確保（文科省の基準では980時間）されたようだが。

**答弁** 栃木県内では現在、**4市8町1村が2学期制を導入している。**しかし、調査してみると**メリット・デメリット両面が見られ、今後も引き続き調査研究が必要**であると考えます。なお2学期制については、芳賀地区広域行政事務組合教育委員会でも、視察研究を行っているところである。

## 教育関係の諸問題 について



**質問** 今年度から、適応指導教室『ライブリー教室』が青年女性会館に移転したが、これだけで不登校問題が解決するわけではない。それぞれの子どものレベルに応じた居場所づくりが何よりも大切である。  
『学校に通えるものの教室には入れない生徒』（別室登校）に対して、各学校ではどのような指導が行われているのか伺いたい。

**答弁** 現在、別室登校の児童生徒数は、小学校で3名、中学校で19名おり、保健室、事務室、相談室などで学校生活を送っている。  
また、養護教諭や担任をはじめ、授業のない時間を中心に、**全教職員が計画的に学習指導**に対応している。**スクールカウンセラーや心の教室相談員もカウンセリング**などを中心に支援している。

## 再質問



**質問** 『病児保育・病後児保育』について  
病後児保育を『次世代育成支援対策行動計画』に盛り込むとのことであるが、**国などが支援をしている**（今年度までに全国500市町村で整備することを目標としている）中にあって、**締め切られてから真岡市が手を挙げるようでは遅い**。順次、医療機関などとの話し合いを進めることは出来ないか。

**答弁** 今春から、小児医療の新たな対応を始めたばかりで、医療機関の負担が大きくなっている。『病児保育・病後児保育』については**計画に沿った形で行うべきだろう**と考える。

**質問** 職員互助会について  
『会員のニーズに応え…』という答弁は理解に苦しむ。**真岡市は財政難を理由に高齢者の敬老祝金や福祉手当を削減してきた経緯がある**。そうした中にあって、職員の厚生事業は同様に進行する考えなのか。

**答弁** **趣味や健康に対する考え方が、会員間でも多様化**している。そうした意見を聞きながら、適正であれば事業を執行していきたいと考える。

**質問** 職員の電話対応について  
**民間企業の多くは電話に出る際、名前を名乗る取り組みを既に行っている**。なぜ、市役所では出来ないのか。

**答弁** 今後も相手の立場に立った、親切的な電話対応を徹底していきたい。

## 再々質問



**質問** 職員互助会について  
余暇が多様化している今日だからこそ、互助会がその部分を受け持つ考え自体に限界があると考えます。**互助会の厚生事業を見直す考えがあるのか**。

**答弁** **厚生事業の内容については、今後検討していきたい**。

**質問** 職員の電話対応について  
『相手の立場にたった電話対応…』というが、それが**出来ているのなら、市民から不満の声が出ることはないはず**だ。具体的な今後の取り組みについて伺いたい。

**答弁** 電話の内容を正確に把握し、迅速丁寧かつ正確に処理していくことを念頭に置きたい。

## アンケートにご協力下さい!

「真岡市政への提案」「生活していて感じる身近な疑問」  
どんなテーマでも結構です。皆様の声をお聞かせ下さい。

右のハガキを書いて ▶ 切り取って ▶ ポストへ投函

(投函する際、切手は不要です。)

ぜひご覧下さい!

真岡市議会議員

中村かずひこ ホームページ

<http://www.i-berry.ne.jp/~tonpei>

なお、Yahoo! JAPANで「中村かずひこ」と検索しても、ご覧いただけます。

### 中村かずひこ未来をつくる会

中村のクリーンな政治活動を支える「中村かずひこ未来をつくる会」では個人献金に限り、カンパを受付けています。頂いたカンパは政治資金規正法にもとづいて適正に処理します。

〔振り込み先〕

真岡信用組合本店 普通口座 2099671

中村かずひこ未来をつくる会 代表 中村和彦

郵便はがき

3 2 1 4 3 9 0

料金受取人払

真岡局承認

25

差出有効期間  
平成17年10月  
31日まで  
(切手不要)

真岡市熊倉町3423-4

真岡市議会議員

中村かずひこ行



3 2 1 4 3 9 0

5

### 市政アンケート

お名前	
ご住所	(〒 - )
お電話	
Eメール	

# 速報!! 市町合併に新たな動き 二宮町が編入申し入れ

9月30日(木)、二宮町が真岡市に対し編入合併を前提とした新たな合併協議をするよう申し入れを行いました。

両市町は今後、財政優遇措置が受けられる現行合併特例法の期限内(平成17年3月までに合併申請書を県知事に提出)での合併を目標に話し合いを進めて行くこととなります。

## 合併協議会 ここまでの動き(6月以降)

茂木町が… (6月23日)	市議会にて… (7月30日)	協議会が… (8月31日)	福田市長が… (9月9日)	そして… (9月30日)
第12回芳賀地区合併協議会で、茂木町が正式に協議会からの脱退を表明。	真岡市議会は議員協議会を開き、今後の対応を協議。「合併協議は1度白紙に戻す」「真岡市への編入希望があった場合のみ対応する」との方針で合意。	1市4町による芳賀地区合併協議会が、正式に解散した。	市議会の一一般質問で福田市長が、「編入合併でも(特例法の期限を考えると)タイムリミットは9月末」と答弁。他町の動きが活発化。	二宮町が、「真岡市への編入」を前提とした合併協議を申し入れ。

## 文教常任委員会 行政視察報告

7月13日～15にかけて、文教常任委員会では、石川県金沢市と福井県大野市へ行政視察に赴きました。

今回は、①不登校対策 ②2学期制の導入 ③生涯学習事業の3つがテーマでした。



金沢市にて

「不登校対策」と「2学期制(今年度より全小中学校で実施)」について視察。小学6年生を対象にした中学校の公開期間を設けるなど、不登校を未然に防止する学校づくりのために、様々なアイデアを取り入れている。



大野市にて

まちづくりのリーダー養成を目的とした『大野明倫館事業』。子育て、環境、都市政策などテーマを絞り、専門家の指導を受けながら事業を進めている点は、真岡市も参考にすべきだろう。ちなみに、この事業には4名の高校生も参加している。

今回の視察では、下記の金額が公費でまかなわれました。(議員1人あたり)

総額	91,980円	出所	議会費のうち旅費
内訳	交通費、宿泊費、相手先みやげ代、議員日当など		

※当然のことですが、視察中の飲食代は全て議員の個人負担です。  
※議員日当(3,300円×3日)の是非については、今後も課題としていきたいと考えております。

※視察の詳しい所見については、中村のホームページにて掲載を予定しています。

## 市政アンケート

### ◆「真岡のまちをこうしよう!あなたのアイデア大募集」

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

### ◆「中村かずひこ通信」について、ご意見・ご要望をお寄せ下さい。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

ご協力ありがとうございました

## 中村かずひこ活動日誌

- 7/2 あいさつボランティア朗読奉仕員養成講座
- 8 国民健康保険運営協議会に出席
- 9 あいさつボランティア朗読奉仕員養成講座 楠利明氏家町議と面会
- 11 田町『葉師まち』
- 13~15 文教常任委員会行政視察(石川県金沢市、福井県大野市)
- 16 あいさつボランティア朗読奉仕員養成講座
- 22 明治大学 星野泉教授と面会
- 23~25 『真岡の夏祭り』に参加
- 28~29 国民健康保険運営協議会視察(福島県喜多方市)
- 30 議員協議会
- 8/6 栃木県市議会議長会講演会に出席(於:鹿沼市)
- 7~8 地方自治を学ぶ会合研修(於:グランドホテル静風)
- 8 まちづくり講演会に出席
- 11 西真岡保育園にてヒアリング※子育て環境などについて
- 13~14 『もおか木綿ふるさと踊り』に参加
- 18 保育ママを個人視察 福田市長と面会※子育て環境などで意見交換
- 19 県南5市市議会議長会講演会に出席(於:栃木市)
- 20 朗読奉仕員養成講座 西方町を個人視察※乳幼児の医療費現物給付について
- 21 『大谷の夏祭り』に参加
- 22 『いかだ下り』に出席
- 24 議員協議会 臨時議会
- 25 さわやかデイホーム悠々にてヒアリング※高齢者福祉の課題について
- 27 朗読奉仕員養成講座 沼生教育長と面会※体育施設の問題などで意見交換
- 28 真岡の自然観察会研修(於:藤原町)
- 8/31 芳賀赤十字病院にてヒアリング※乳幼児の医療費助成における課題について
- 9/1 議員協議会 9月定例議会開会 会派協議会
- 2 福田こどもクリニック(宇都宮市)を個人視察※病児・病後児保育を調査
- 3 一般質問の通告書を提出※その後、市の担当部署と内容のすり合わせ 熊倉町区長(1~4区)と意見交換
- 4 真岡中学校運動会に出席
- 9 質疑・一般質問1日目
- 10 質疑・一般質問2日目※この日2人目として登壇 真岡地区区長との懇談会
- 11 大谷地区敬老会に出席
- 12 壮年ソフトボール大会で大谷地区の応援
- 13 文教常任委員会
- 16 高勢町「絵本の会」にてヒアリング※子育て環境などについて
- 17 あいさつボランティア 平成15年度決算特別委員会の通告書を提出 ※その後、市の担当部署と内容のすり合わせ
- 18 亀山小学校運動会に出席 真岡東小学校運動会に出席
- 19 「中村八幡宮例大祭」に参加
- 21 交通安全指導(高間木の交差点)
- 22 平成15年度決算特別委員会※総務費など6項目について質疑 会派建議要望を市長に提出
- 23 明治大学栃木県校友会「マンドリン倶楽部コンサート」※スタッフとしてお手伝い
- 25 真岡西小学校体育フェスティバルに出席 真岡小学校運動会に出席
- 26 高勢町敬老会に出席 『アイ・ラブ・ピース』上映会
- 27 栃木県議会を傍聴
- 28 9月定例議会閉会
- 29 明るい選挙推進大会に参加(於:二宮町)